見守り新鮮情報

事例1

約３年前にネット通販で購入した、リチウムイオン電池を使用した**自転車用ライト**が、走行中に突然**爆発**し、腹部に**やけど**を負った。（70歳代）

©Kurosaki Gen

事例2

スマホ用の**モバイルバッテリー**がすごく**膨らんできて**いて**怖い**。廃棄したいが危険性もあるかもしれない。**どこに廃棄**すべきか。（60歳代）

リチウムイオン電池の膨張、発煙・発火に注意

ひとこと助言

- リチウムイオン電池は小型大容量、繰り返しの使用が可能などの利点から、モバイルバッテリーやワイヤレスイヤホン・スピーカーなど、身の回りの様々な商品に搭載されています。しかし便利な一方で電池の発煙・発火事故も発生しています。
- 製造・販売元や型式が明示されていない商品や、仕様が不明確な商品を購入するのは避けましょう。充電器やモバイルバッテリーは、PSEマークの表示を確認しましょう。
- 充電の際は適切な充電器を使用し、もし充電端子が過熱したり異臭がした際は直ちに使用を中止しましょう。
- 落下などで電池に衝撃が加わると、発煙・発火を伴う事故につながる可能性も考えられます。持ち運びや保管の際は取り扱いに注意し、電池に膨張がみられたら使用を控えましょう。
- 廃棄する際は、必ず自治体の分別ルールに従いましょう。取り外し可能なバッテリー等は販売店でリサイクル回収をしてくれる場合もあります。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報　第514号（2025年6月19日）発行：独立行政法人国民生活センター